

防犯ボランティア 活動のしおり

みんなでつくろう安心の街



(公財)茨城県防犯協会
茨城県警察本部

防犯ボランティア団体などの住民パワーが 犯罪抑止に大きな力を発揮！

防犯ボランティア団体などの活動が県内各地で活発に行われ、地域での犯罪抑止と犯罪の起きにくい街づくり
に大きく貢献しています。

活動の多くは、地域住民の皆さんによる徒歩でのパト
ロールです。「自分たちのまちは自分たちで守る」という
自主防犯意識があれば誰でも参加できる活動です。

パトロール中に人に会ったら誰にでもあいさつをし、
街や人の様子を注意深く見て歩くことにより、防犯に役
立つ事柄が見えてきて、改善を要する箇所の発見や不審
者、犯罪を企てている者を地域から追い出すこともでき
るはずです。

過去に行った調査結果によれば、泥棒などが犯行を諦
めた理由の第1位が「近所の人に見られたり、声をかけら
れたから」でした。「どちらにご用ですか」などと地域の
方々から声をかけられるのが、犯罪者にとっては一番い
やなのです。

こうした活動を通じて地域の連帯が進めば、地域から
犯罪を減らすことができるのです。

各地で行われている防犯ボランティア団体などの活動
により、犯罪防止に効果のある地域コミュニティが再
生され始めています。犯罪の発生を抑止するには、地域
住民の方々の力が何よりも必要です。

目次

防犯ボランティア団体の立ち上げ方……………	4
防犯パトロールのイメージ……………	5
防犯パトロールの必需品……………	5
防犯パトロールの方法……………	6
ホットスポットパトロール……………	8
防犯パトロールの注意事項……………	12
防犯パトロールQ & A……………	13
ながら見守り……………	14
青色防犯パトロール……………	14
ホームページの紹介……………	14
各種支援・役立つ情報……………	15

防犯ボランティア活動の目的

- 防犯ボランティア活動の目的は、
- 事件・事故・災害の被害を未然に防止すること
 - 地域の皆さんが安全に対する関心を高めること
 - 地域の連帯感を醸成すること
 - 地域の犯罪抑止機能を高めることにあります。

防犯ボランティア団体の立ち上げ方

有志を募りましょう

自治会・PTA・会社など、地域に居住する方や勤務する方で、パトロールのできる方を募集しましょう。

リーダーを決めましょう

有志の方が集まったら、パトロールを効果的に推進するため、推進責任者や副責任者（リーダー・サブリーダー）を決めましょう。

パトロール方法を決めましょう

リーダーを中心に、どのような方法（徒歩、車、時間、ルート等）でパトロールするか話し合しましょう。

交番・駐在所などからの情報を参考にしましょう

地域を管轄する交番・駐在所、警察署が発信する犯罪の発生状況や危険な場所などの情報をパトロールの参考にしましょう。

パトロールの開始を知らせましょう

パトロールの開始が決まったら、具体的にどのようなパトロールをするか、回覧板を利用するなどして地域の皆さんに知らせましょう。

また、管轄の交番・駐在所、警察署にも知らせましょう。

TOPIC 【人集め～他県の例～】

区長の同意を得たり、自治会の回覧を使って有志を募ったりしています。
行政機関が発行する機関紙などを活用している事例もあります。

防犯パトロールのイメージ

気楽に！

気負わず、肩肘を張らず、日常生活の一部として気楽にやりましょう。

気長に！

短期間では、パトロールの効果は表れないものです。

気長に続ければ、やがて気づかないうちに防犯の輪が広がり、犯罪の起きにくい環境が醸成され、犯罪の発生が減少していきます。

危険なく！

せっかくパトロールをしても、事故にあったり怪我をしたのでは、継続することが難しくなってしまいます。危険なことをする必要はありません。

防犯パトロールの必需品

【メモ帳】

犯罪や不審者を目撃したときや、危険箇所を発見したときに記録します。

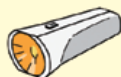


【反射材、タスキや腕章など】

パトロール中であることが一目でわかります。

【懐中電灯】

事故やケガを防止するため、夜間の防犯活動の際には忘れずに



【携帯電話、カメラ】

緊急時の連絡に使用したり、現場の状況を記録します。



【警笛、防犯ブザー】

防犯活動中、危険に遭遇したとき、周りに知らせます。



※これらの携行品は、ウエストポーチなどに入れ、両手は常に空けておくようにしましょう。



防犯パトロールの方法

防犯パトロールは、皆さんが主体となっていくものです。
ここに書いた方法は、一例ですので、皆さんがお住まいの地域に合った方法でパトロールしましょう。

複数で！

2人以上の複数でパトロールしましょう。

多くの目で見ることにより、より多くの危険箇所などを発見できます。また、不審な車を発見したときには、1人はナンバー、1人は車の特徴、1人は運転手の特徴と、役割を決めて覚えるようにすれば、きめ細かく確認できます。



徒歩で！

街頭で犯罪被害にあう方の多くは、徒歩や自転車です。

同じ視点で見ることによって、犯罪にあいそうな場所や危険な場所などを知ることができ、注意喚起に役立ちます。

危険な場所などの確認結果から、防犯カメラや防犯灯の設置を要望する際などにも役立ちます。

声かけを！

声かけといっても「おはようございます」や「こんばんは」といった挨拶だけでも十分です。

地域の皆さんが声をかけ合うことにより、地域の連帯感が醸成されます。

犯罪者は、声をかけられることを嫌います。



毎日欠かさずに！

パトロールは、仲間と交替しながら毎日継続することで防犯効果が高まります。

夕方や夜間だけでなく、朝や昼間のパトロールも大変有効です。

皆さんの姿が頻繁に見えるほど、犯罪者は嫌なものです。

TOPIC【徒歩パトロールのやり方】

歩くコースは、「ぐるり」と一回りしたら、今度は来た道を反転して「ぐるり」と一回り、同じ道の両側の景色を、「表と裏」から見ると、見えるものが違います。

できる範囲で！

無理をせず、皆さんのできる範囲（時間帯・場所）でパトロールしましょう。何事も苦痛になったのでは長続きしないものです。

朝の散歩や犬の運動をする際、仲間を誘って2～3人で「パトロール中」のタスキをかければ、立派な防犯パトロールです！

（「ながら見守り」～P 14 参照）



パトロール後に情報交換を！

ただパトロールをするだけでなく、パトロールの結果について情報交換することにより、危険な場所の改善、子供やお年寄りへの注意喚起など、犯罪の起きにくい地域づくりに役立ちます。

パトロールしようと思うんだけど、どこでどんな犯罪が起きているかわからない…
そんなお悩みをお持ちの方はコチラ↓



茨城県警察

県民のお守りアプリ いばらきポリス

安全安心を守る オールインワンの防犯アプリ

茨城県警察公式の防犯アプリ「いばらきポリス」では、防犯に役立つ情報を配信しています。無料で登録できますので、ぜひご利用ください。

たくさんの機能が満載！

- 事件検挙情報 **NEW**
- 防犯マップ
- 防犯ブザー
- 防犯メール・県警SNS連動
- ひばりくん防犯メール
- 位置情報発信機能



今すぐ
ダウンロード！

◎お問い合わせ先
茨城県警察本部生活安全総務課安全・安心まちづくり推進室…………… 029-301-0110

ホットスポットパトロール

実践編

1 不審者の発見は、ほぼ不可能に近い！

「不審者」＝「犯罪を企てている人」とした場合、「犯罪を企てている人」の見分けは、ほぼ不可能に近い。

防犯パトロールは、「不審者」の発見を目標にしがちですが、犯罪者は、犯罪を始める瞬間を見られない「場所」を選びます。

2 人ではなく、「場所」に注目しましょう。

犯罪は、動機があっても、機会がなければ実行できません。

「場所」に注目し、犯罪の機会を減らす活動を行いましょう。

3 ホットスポットとは？

ホットスポットとは、「犯罪が起こりやすい危険な場所」



「入りやすく」＋「見えにくい」場所です。

【入りやすい場所】の例

※門が解放されている小学校

※車道と歩道の間に植込みやフェンスがない場所

【見えにくい場所】

見えにくい場所には 4 パターンがあります。

●物理的に見えにくい場所

1 死角で見えない場所

2 誰にも見てもらえない場所

●心理的に見えにくい場所

1 無関心な場所（秩序間の乏しい場所）

2 不特定多数の人が集まる場所

TOPIC 【間合い】

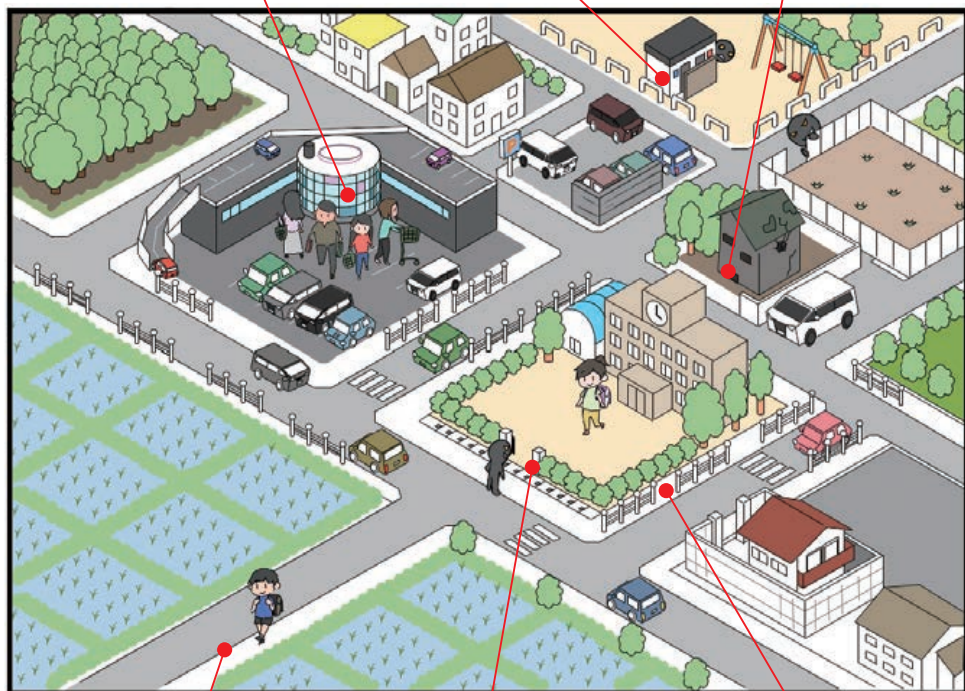
相手に掴みかかられる「危ない距離」は、「相手の身長×0.8」です。例えば、相手が170センチメートルの男性の場合は、およそ140センチメートルが危ない距離です。

ホットスポットの例

心理的に見えにくい
(不特定多数の人が集まる場所)

物理的に見えにくい
(公園のトイレ等)

心理的に見えにくい
(無関心な場所)



物理的に見えにくい
(死角はないが、視線がない)

物理的に入りやすい
(開放された校門)

物理的に入りやすい
(フェンスの区切り)

出典：立正大学教授・社会学博士小宮信夫
～ホットスポットパトロール～

まず、ナンバーの大きな数字を読み、3回以上繰り返します。次に運輸支局名（水戸、つくばなど）、そして車名と車の色を見ます。車名がわからなければ形を覚えさせます。

ホットスポットに立ち寄ったら（またはホットスポットを見つけたら）



判断材料は、周囲の「建物の向き」、「窓の数」、「塀」や「生け垣の高さ」、フェンスが目隠しか、空き家の有無など

5～10分程度を目安に留まり、周囲を見回るとともに、通行人がいれば、挨拶を行うなど存在感を示します。



- ※1 青パトの場合は降車し、見回りを行います。
- ※2 ホットスポットの広さに応じて、滞在時間を変えましょう。

ホットスポットで自分たちの存在を「見せる」ことを意識してください。



ホットスポットを見つけた場合、パトロール活動により警戒するだけでなく、犯罪が起こりにくい場所へ改善できないかを、皆さんで話し合うことも大切です。

改善例

出入口が開放されている駐車場



駐車場に入りやすい！

出入口にチェーンが張られている駐車場



勝手に入ることが難しい

→そもそも子どもも中に入るのをためらう

→連れ去り現場になる可能性は低い

防犯パトロールの注意事項

危険なことはせずに早めに通報を！

パトロール中に不審者を発見したら、直ちに警察へ通報しましょう。

不審な車を発見したらナンバーや特徴をチェックして、その車が逃げて
も追跡などせずに警察へ通報しましょう。

事件を目撃したら、直ちに 110 番通報しましょう。

※ 110 番のかけ方

携帯電話、固定電話、公衆電話のいずれからでも、「110」を押すこと
により 110 番通報を受理する「警察本部通信指令課」につながります。

通報を受けた警察官は次のような点について順を追って聞きますので、
落ち着いて話しましょう。

- ・何があったのか
- ・いつ
- ・どこで（目標物などがあれば教えてください。
電柱番号でも場所がわかります。）
- ・犯人・不審者は（性別、人相、服装、車両、
逃走方向）
- ・被害状況は
- ・通報者であるあなたの名前など



交通事故に注意！

徒歩パトロール時には、反射材や懐中電灯などを活用し、運転者から目
立つようにするなど、交通事故には十分注意しましょう。

プライバシーを尊重し、秘密を守る！

誰もが自分の家庭のことは干渉されたくないものです。パトロール中に
知り得た他人のプライバシーは保護しましょう。

分からないことがあれば？

パトロール上の注意点や地域で発生している犯罪を防ぐための方策な
ど、分からないことがあれば、地元の交番・駐在所又は警察署生活安全課
（係）に相談しましょう。

防犯パトロール **Q** & **A**

Q	A
大きな負担になりませんか？	たくさんの方々が参加することにより、一人ひとりの負担は減少します。 パトロール従事者が 20 人いれば 3 人一组で毎日巡ったとしても 1 人当たりでは週 1 回、100 人いれば、月 1 回です。
県内にある他の防犯ボランティア団体は、どのような活動をしているのですか？	茨城県警ホームページ内の、「自主防犯活動についての紹介」をご覧ください。 
活動を長続きさせる方法がありますか？	無理のない計画、方法で活動することが一番です。 また、多くの住民が参加できる活動内容を設定することもポイントです。
万が一、怪我などをしてしまったときの保証などがありますか？	パトロール中に怪我をした場合に保証される団体保険があります。 活動を開始する前に、（公財）茨城県防犯協会にお問い合わせください。

紹介 ～ながら見守り～

「ながら見守り」とは、地域の皆さんが、日常生活の中で、ウォーキングやジョギング、買い物、犬の散歩、花の水やり等を行う際や、事業所の皆さんが配達等の日常の事業活動を行う際に、防犯の視点を持って子供達を見守る活動のことをいいます。

家の外で子供達が犯罪被害に遭うのは、登下校時、特に下校時間帯に集中している傾向にあります。一人でも多くの方が「地域の目」として「ながら見守り」に参加してください。

紹介 ～青色防犯パトロール～

「青色防犯パトロール」とは、自動車に青色回転灯等を装備して、専ら地域の防犯のために自主的に行うパトロールをいいます。

一般の自動車に回転灯等を装備することは法令で禁止されていますが、警察本部長から自主防犯パトロールを適正に行うことができるとの証明を受けた団体は、自動車への青色回転灯等の装備が認められています。

詳しくは、茨城県警察ホームページをご覧ください。最寄りの警察署の生活安全課（係）にお問い合わせください。



ホームページの紹介

茨城県防犯協会



茨城県警察本部



自主防犯ボランティア
活動支援サイト



茨城県
社会福祉協議会



～各種支援・役立つ情報～

【防犯グッズ、ボランティア保険】

- ・ 防犯パトロール用品の案内
帽子や腕章などの防犯グッズは、(公財)茨城県防犯協会でもご案内しています。
- ・ 防犯パトロール中の事故などに対するボランティア保険への加入
また、ボランティア保険については、(公財)茨城県防犯協会にご相談ください。
- ・ 地域防犯リーダー養成講習会の開催
より活発に、また効果的にパトロール活動を行えるように、地域の防犯活動を牽引するリーダーを養成するための講習会を開催します。
- ・ 自主防犯活動者に対する支援
防犯パトロール活動など、県内の模範・手本となるような地域安全活動を実施している団体や、多年にわたり犯罪防止のために尽力した方に対し、警察と防犯協会で表彰を行っています。

【犯罪情報】

犯罪に関する最新の情報は、以下の二次元コードを読み取って、参考にしてください。

住宅侵入窃盗



自動車盗



自転車盗



二セ電話詐欺



暑い日も、
寒い日も
いつも見守り
ありがとうございます
ございます

みんなでつくろう 安心の街



防犯ボランティア活動のしおり

初 版	平成16年 5 月
第二版	平成20年 6 月
第三版	平成31年 2 月
第四版	令和 7 年 5 月

編集・発行者

(公財)茨城県防犯協会 029-303-5260

茨城県警察本部生活安全総務課

029-301-0110